

第一薬科大学カリキュラムマップ

主専攻プログラム モデル体系図

第一薬科大学 薬学プログラム

(専門教育における) 学習の成果	教養教育 到達目標	1年		2年		3年		4年		5年		6年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
知識・理解	1. 薬学を学ぶ上で基礎となる基本的知識を習得し、それらを薬学領域で応用することができる。	基礎数学(演習)(◎)			基礎統計学(◎)									
	人類や社会が抱える歴史的・現代的課題(社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義など)について、多角的な視点から説明できる。	哲学(○)	哲学(○)	哲学(○)	哲学(○)									
		倫理学(○)	倫理学(○)	倫理学(○)	倫理学(○)									
		法学(○)	法学(○)	法学(○)	法学(○)									
		経済学(○)	経済学(○)	経済学(○)	経済学(○)									
		心理学(◎)												
	特定の学際的・総合的なトピックス又は研究の最前線や社会問題のトピックスについて、複数の視点から説明できる。	早期体験学習(◎)	早期体験学習(◎)											
		薬学概論(◎)	社会薬学(◎)											
	1. コンピュータと情報ネットワークを理解し、応用的な情報活用ができる。	情報処理演習(◎)	情報処理演習(◎)						医薬品情報学(◎)					
	1. 外国語を活用して、口頭や文書で日常的なコミュニケーションを図ることができる。	中国語(○)	中国語(○)											
		フランス語(○)	フランス語(○)											
	1. 体力・健康づくりの必要性を科学的に説明でき、運動を通じて健康生活の設計と自己管理ができる。	体育実技(△)	体育実技(△)											
	1. 幅広い教養ならびに自然科学及び社会科学についての基本的な知識と理解	教養科目	教養科目											
	2. 医薬品や無機・有機化合物の基本構造、物理的性質、反応性などの基本的知識と理解	理論化学(◎)	理論化学(◎)	物理化学Ⅰ(◎)	物理化学Ⅱ(◎)	物理薬剤学(◎)	応用物理化学(◎)	薬学演習(◎)※基礎薬学演習Ⅱに該当		卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)		
				有機化学Ⅰ(◎)	有機化学Ⅱ(◎)	製剤学(◎)	臨床物理分析法(◎)							
			化学系実習(◎)	物理系実習(◎)										
3. 生体のホメオスタシス(恒常性)の維持機構とダイナミックな調節機構に関する知識と理解	機能形態学Ⅰ(◎)	機能形態学Ⅰ(◎)	機能形態学Ⅱ(◎)	免疫学(◎)	分子生物学(◎)	分子生物学(◎)	薬学演習(◎)※基礎薬学演習Ⅱに該当		卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)			
		生化学Ⅰ(◎)	生化学Ⅱ(◎)	生化学Ⅱ(◎)							ゲノム創薬(◎)			
			微生物学(◎)	微生物学(◎)	生物系実習(◎)									
4. 様々な臓器に関する主な疾患に対する適切な薬物治療のための基本的知識と理解			薬理学Ⅰ(◎)	薬理学Ⅱ(◎)	薬理学Ⅲ(◎)	薬理学Ⅳ(◎)	薬学演習(◎)※医療薬学演習に該当		卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)			
					薬物治療学Ⅰ(◎)	薬物治療学Ⅱ(◎)	薬物治療学Ⅲ(◎)							
				病態生理学Ⅰ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)	薬物治療学Ⅳ(◎)							

教養科目 専門基礎科目 専門科目 卒業研究 臨床実習 (◎)必修科目 (○)選択必修科目 (△)自由選択科目

第一薬科大学カリキュラムマップ

主専攻プログラム モデル体系図

第一薬科大学 薬学プログラム

(専門教育における) 学習の成果	教養教育 到達目標	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
知識・理解	5. 生態系や生活環境の保全、維持するための環境汚染物質などの成因、ヒトへの影響に関する理解			放射化学(◎)	環境衛生学Ⅰ(◎)	環境衛生学Ⅱ(◎)	公衆衛生学(◎)		衛生薬学演習(◎)	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
						食品衛生学Ⅰ(◎)	食品衛生学Ⅱ(◎)					健康管理学(◎)	
							衛生化学実習(◎)						
	6. 薬効や副作用を定量的に理解するための薬物動態の理論的解析に関する知識と理解				生物薬剤学(◎)	薬物動態学Ⅰ(◎)	薬物動態学Ⅱ(◎)	医薬品情報学(◎)	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)		
								薬学演習(◎)※医療薬学演習に該当	医療統計学(◎)				
	7. 医療チームと薬物治療などに関してコミュニケーションができる知識と理解		コミュニケーション論(◎)		病態生理学Ⅰ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)	薬学演習(◎)※臨床薬学演習に該当	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)		
							薬物治療学Ⅰ(◎)	薬物治療学Ⅱ(◎)	薬部治療学Ⅲ(◎)	診療科別治療論(◎)		地域薬局論(◎)	
									医薬品情報学(◎)				
									臨床心理学(◎)				
									薬事関係法規・制度Ⅰ(◎)				
									薬事関係法規・制度Ⅱ(◎)				
									医薬品情報学(◎)				
	8. 医療人としての人格形成の自己向上力:薬剤師はヒトの生命にかかわる職業人であることを自覚し、それに相応しい行動・態度。病んでいる人たちのみならず、医療チームの中で他の医療スタッフとコミュニケーションできる知識と理解				医学概論(◎)								
	9. 英語の読解力を高め、医療及び化学英語を習得する。	1. 英語を活用して、口頭や文書で日常的なコミュニケーションを図ることができる。	基礎英語(◎) 英会話(○)	基礎英語(◎) 英会話(○)	薬学英語(◎)				臨床薬学英語(◎)				
知的能力・技能	1. 基本的な医薬品の薬理作用を化学構造と関連づけて思考する能力						医薬品化学A(◎)	医薬品化学B(◎)		卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
									医薬品情報学(◎)	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
									医療安全性学(◎)			処方解析学(◎)	
	2. 薬物治療に必要な情報を自ら収集できる能力												
	3. 化学物質の中毒量、標的器官、中毒症状、応急処置法、解毒法を検索できる。						薬理学実習(◎)		医薬品情報学(◎)	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
									医療安全性学(◎)				
	4. 臨床検査値の異常から推測される主な疾患を挙げる能力・技能				病態生理学Ⅰ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)	病態生理学Ⅱ(◎)			卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
							薬物治療学Ⅰ(◎)	薬物治療学Ⅱ(◎)	薬物治療学Ⅲ(◎)				
									薬物治療学Ⅳ(◎)				
	5. 薬物の有害作用(副作用)軽減のための対処法を思考する能力・技能						薬物治療学Ⅰ(◎)	薬物治療学Ⅱ(◎)	薬物治療学Ⅲ(◎)	卒業研究Ⅰ(◎)		卒業研究Ⅱ(◎)	
									薬物治療学Ⅳ(◎)				
									臨床薬物動態学(◎)				

教養科目
専門基礎科目
専門科目
卒業研究
臨床実習
(◎)必修科目
(○)選択必修科目
(△)自由選択科目

